

「不登校・ひきこもり」

出前講座と交流のつどい



とまどいと不安から**確信**へ!

～ぶどうの会19年の歩みから、
「未来への展望と確信」を伝える
講座と交流のつどい～

どなたでも
参加できます

— 不登校・ひきこもりの子どもが
より早く立ち上がるためには何が必要か —



「適切な対応でどの子も必ず
立ち上がる」これが私たち
19年間の活動の中でつかん

鈴木正洋
ぶどうの会代表

どの子も必ず立ち上がる

だ確信です。親や祖父母、教
職員、地域の人たちがどの
ように不登校・ひきこもりの
子どもを捉え、援助したら
いいのでしょうか。ともに学
び考えあいたいと思います。
毎月開催の定例会とは別に、
これまで南アルプス市、甲斐
市・大月市・富士吉田市、都
留市などで出前講座を開催
してきました。みなさん
ご参加をお待ちしています。

日時

8月4日(日)
10:30-16:30

会場

総合福祉センターふじみ 2階 会議室B.C
〒409-0112 山梨県上野原市上野原3163番地
電話 0554-62-3115

資料代

1,500円 テキスト本代
資料・会場費等

主催・お問合せ

山梨不登校の子どもを持つ親たちの会 (ぶどうの会)
☎0553-44-5078 Fax 0553-44-5079
メール budoonokai@gmail.com
〒405-0061 山梨県笛吹市一宮町石2359-102
事務局 鈴木正洋/鈴木はつみ

参加申し込みは裏面



上野原市で初開催

■ プログラム

- 10:00～受付
10:30～開会行事
はじめのつどい (15分)
10:45～体験者のお話 糸井宏明 (30分)
11:15～参加者自己紹介 (45分)
12:00～12:50 昼食休憩 (50分)
〈午後の部〉
12:50～ 基礎講座 鈴木正洋 (60分)
13:50～ 休憩
14:00～ 基礎講座 鈴木正洋 (60分)
15:00～ 質問と参加者交流会(75分)
16:15～ 諸連絡・終わりのことば
16:30 終了

■ 不登校体験者のお話

「不登校は意味のある体験 展望と確信を」



糸井宏明 10:45～

山梨学院大学で「不登校体験」を
講義している糸井宏明さん

■ いとひ ひろあき

山梨県北杜市在住。1960年東京都生まれ。小4～小5の2年間不登校を経験。小5の3学期児童相談所へ入所。小6から学校へ戻るが、中1の1学期までの欠席日数が年間30日以上。学生時代から様々な職業を経験。現在、工務店及び建築設計事務所を経営。

■ 不登校講座

ぶどうの会代表 鈴木正洋 (120分)

どの子ども必ず 立ち上がる

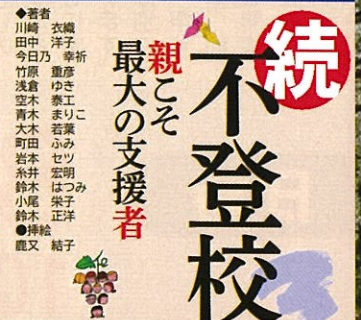
- ① 子どもはどのようにして
不登校・ひきこもりになるのか
- ② 不登校のしくみ・構造
不登校とはどういうことなのか
- ③ 不登校の対応と援助
子どもは不登校からどのようにして立ち上がるのか
- ④ 不登校問題
子どもの不登校から何を学び取るのか

■ すずき まさひろ

山梨県笛吹市在住。1944年山梨県都留市生まれ。1962年山梨県立機山高等学校電気科卒業。山梨勤労者医療協会勤務(10年)。一宮町町議会議員(10年)。2019年3月自営業退職(高压電気保安管理業務を55年間就任)。現在、山梨不登校の子どもを持つ親たちの会『ぶどうの会』代表。わが子の不登校体験から、妻の鈴木はつみ(事務局長)とぶどうの会を設立して共に19年間歩んできた。

講座で使うテキスト本

手をつなぐ素敵な親たちの不登校対応の本



親たちの体験15年から
その未来への展望と確信を伝える
だいじょうぶ
どの子ども必ず立ち上がる

本書は公益財団法人 大和証券福祉財団平成30年度「第25回ボランティア活動助成金」を
助けて作成しました。

お申込み

- ① 参加申し込み方法 (事前に申し込みをお願いします)
電話 0553-44-5078
ファックス 0553-44-5079
メール budoonokai@gmail.com
- ② 事前参加申し込みが間に合わない場合には、直接会場にお出かけください。
- ③ 基礎講座に使うテキスト本「続不登校、親こそ最大の支援者」は資料代に含まれています。

地元連絡先

子育て支援サークル
「ここにこママクラブ」 (上野原市)



メールQRコード



ホームページQRコード

定価 1,500円



山梨不登校の子どもを持つ親たちの会

ブログ: <http://budounokai88.blog.fc2.com>

ホームページ <https://budonokai.jimdofree.com>